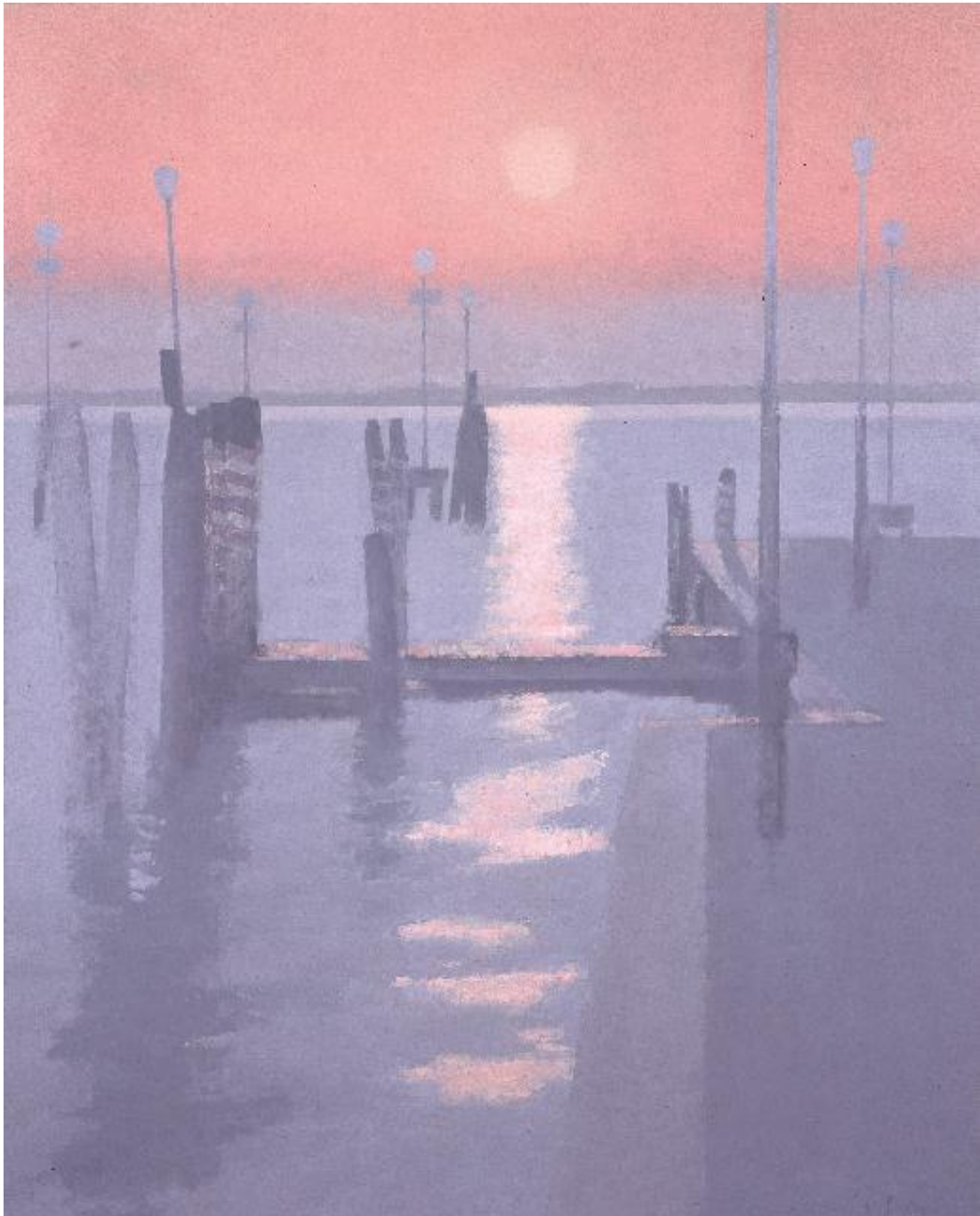




Seiji Togo Memorial
Sompo Japan Nipponkoa
Museum of Art

News Release

風景との対話 コレクションが誘う場所



福本章 <ムラノの朝>1999年 油彩、キャンヴァス

2016年11月26日(土)－12月25日(日)

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

風景との対話 コレクションが誘う場所

開催のご案内

このたび東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館は、2016年度の収蔵作品展として「風景との対話 コレクションが誘う場所」を開催いたします。

風景画には、私たちが描かれた世界の中にひきこむ力があります。そこで感じたことは記憶の底に残り、日常のふとした瞬間によみがえります。絵を見る体験を重ねるほどに、日々目にすることをきっかけに心の中で生まれる対話が豊かになっていくのです。

本展では、当館のコレクションから 50 余名の画家による魅力的な作品約 80 点を選び、テーマごとに 8 つの章に分けてご紹介いたします。寒さも増す季節、暖かい美術館で画家たちのいざなう場所に心遊ばせてみてはいかがでしょうか。

■章立てと主な作家

1. フランスのエスプリ : ユトリロと、東郷青児が二科展で交流した戦後パリの画家たち
2. 東郷青児の旅 : 東郷青児の風景画と旅先のスケッチ
3. 日本の風土 : 西洋絵画に刺激を受け、日本の自然に向き合った画家たち
(有島生馬、中川紀元、東山魁夷、山口華楊など)
4. 異国の魅力 : 外国の町並みや情景に魅了された画家たち
(野村守夫、大津英敏、福本章など)
5. 意識の底の地 : 不思議な設定や空想を織り交ぜ、心の底のリアリティに迫る
(井上覚造、三尾公三、藤野一友、矢元政行など)
6. 日常の向こう側 : 日常の一瞬を切り取り、静謐な詩情を召喚する
(山本貞、笠井誠一、相笠昌義など)
7. 世界の感触 : 心で感じとった世界の感触を多様な技法で表現する
(櫃田伸也、小杉小二郎、堤康将、宮里紘規、遠藤美香など)
8. 思い出のニューヨーク : 70 歳から絵を始めた女性が描く古き良き農村の暮らし
(グランマ・モーゼス)

開催要項

【会 期】2016年11月26日(土)－12月25日(日)

【休館日】月曜日

【開館時間】午前10時－午後6時(入館は午後5時30分まで)

【観覧料】一般：600円、大高生：400円、中学生以下無料 ※20名以上の団体は各100円引き

【主催】東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

【協賛】損保ジャパン日本興亜

作品図版

以下の6点についてデータをご用意しています。ご希望の方は下記広報担当までお申し込み下さい。



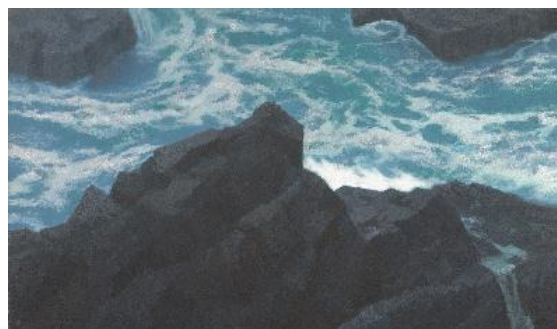
①福本章 《ムラノの朝》
1999年 油彩、キャンヴァス



②山本貞 《反映》
1998年 油彩、キャンヴァス



③相笠昌義 《交差点にて、ある人》
2007年 油彩、キャンヴァス



④東山魁夷 《潮音》
1966年 岩絵具、和紙



⑤大津英敏 《ベルギーの空と雲・Gent》
2005年 油彩、キャンヴァス



⑥堤康将 ^{うそが} 《囁く》
2012年 岩絵具、アクリル、銀箔、和紙

—本件に関するお問合せ先—

【「風景との対話」展覧会広報事務局】（ウインダム内）

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-28-9 ヤマナシビル

e-mail : sjnk-m-pr@windam.co.jp TEL : 03-6661-9447 FAX : 03-3664-3833

担当：新山（しんやま）、橘川（きつかわ）